

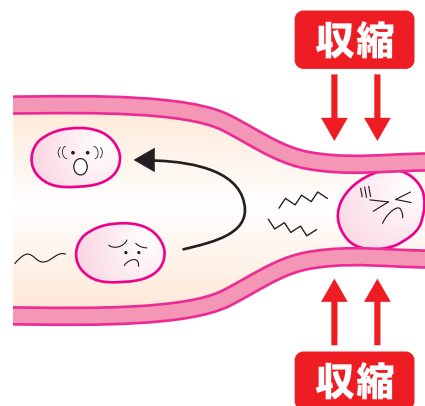


これからの季節にご用心

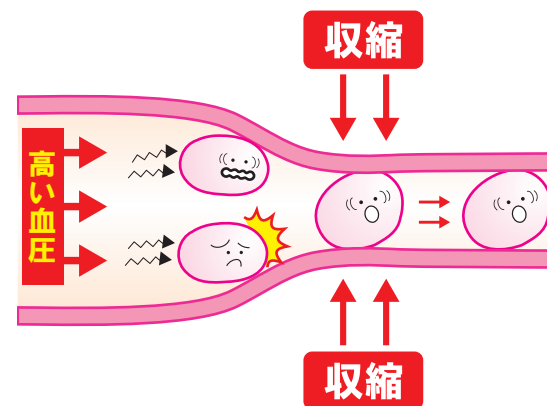
血栓のある血管が収縮すると

超危険!

寒くなると熱の放出を防ぐために血管は収縮します。これは人間の防衛反応で、全ての人の血管で起きている現象です。収縮すると、血管内は狭くなり血流が悪化します。血流が悪くなると、より先に血液を送ろうと身体はがんばり大きな力が必要になるため血圧も自然と高くなります。



血管の収縮により流れにくくなる

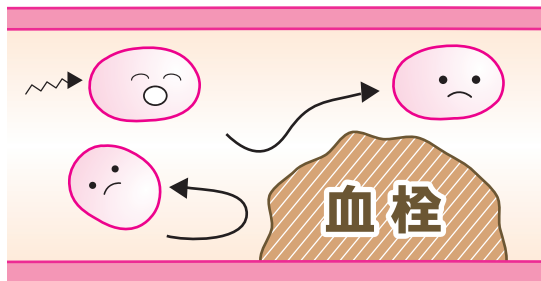


血液を先に送るために強い力が加わる

もし血栓ができていて、毎日の血流が悪くなっている時に、血管収縮が起こるとどうなる？

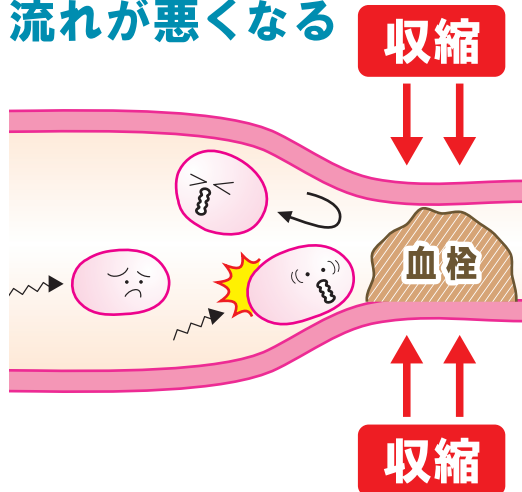
①

血栓が障害物となるが
流れている状態



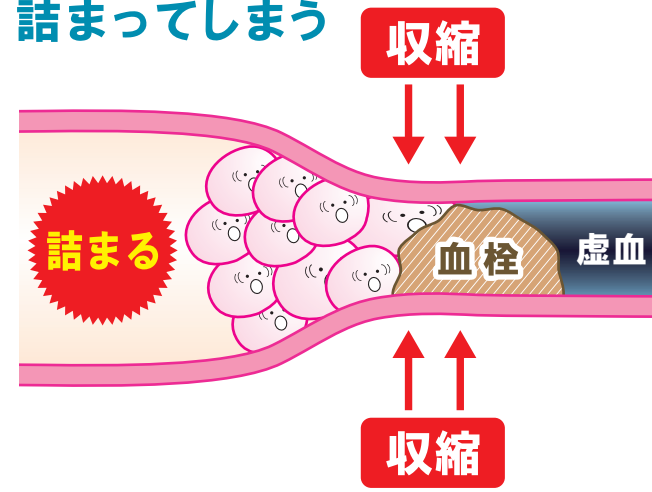
②

血栓と血管の収縮により
流れが悪くなる



③

血流が完全に遮断されて
詰まってしまう



冬の脳梗塞に要注意!!

季節はもうすっかり冬。気温も低下し、グッと寒くなるこの時期。寒くなると、「身が縮まるほど寒い」などといった言葉を聞いたりしませんか？これは寒さを和らげるために身体を丸くして寒さに耐える姿を連想した言葉ですが・・・

縮まっているのは身体だけではありません!!



実は注意
すべきは

血管の収縮!!

なぜ

? 体温の確保!!

こたえは

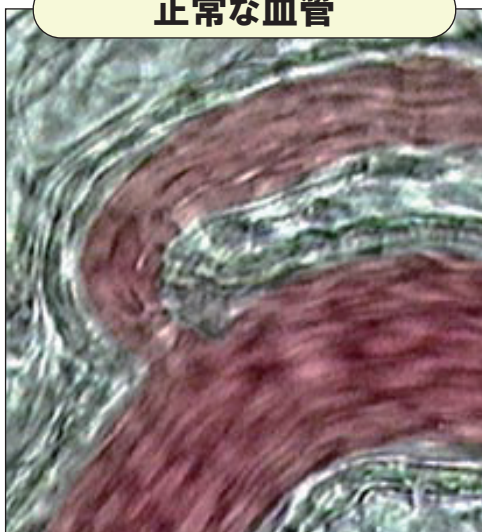
人体の機能を維持するには熱が必要です。寒くなると、生体維持の熱を確保するために、冷気に近づけないように皮膚表面から血管を遠ざけ、熱を確保するために血管は収縮するのです。

収縮した血管



血管が収縮して、血流が悪くなった状態

正常な血管



血管は正常で、スムーズに流れている状態

梗塞が増える冬

冬場は梗塞が増える季節です。春や秋に比べて、その発症率は約30%以上も増加します。暖かくして体温維持に努めることが冬場の梗塞予防につながります！

脳梗塞の発症率

約32%
UP

春(3~5月)
秋(9~11月)

夏(6~8月)
冬(12~2月)